



第135回 かわさき起業家オーディション  
「かわさき起業家賞」受賞

## 子供専用相乗りタクシーアプリ 「hab」



hab株式会社

代表取締役

豊田 洋平

「hab」は、さまざまな習い事に通う子どもたちが乗車できる、子ども専用の相乗りタクシーサービスです。近年、共働き世帯の割合が多くなり、「子どもの送迎問題」に悩む家庭が増えています。親御さんからは、「送迎の時間が取れず、好きな習い事をさせてあげられない」「送り迎えがあるので時短でしか働けない」という多くの声が挙がっており、自身のキャリアをあきらめてしまう方も少なくありません。一方、習い事事業者の側も送迎サービスを行いたいと考えてはいるものの、車の維持費が負担になったり、ドライバーのなり手がなかったりという状況で、対応できる場所は多くありません。

子育てとキャリアの両立を困難にし、子どもの体験格差を生んでいる「送迎問題」は、子育て環境の悪循環をつくり出す要因の一つになっているともいえるでしょう。

この問題を解決するために立ち上げたサービスが「hab」です。会社員時代の副業としてスタートした事業ですが、想定していたよりも高いニーズがあることが分かり、独立を決意しました。世の中から送迎に悩む家庭をなくすため、全力で取り組んでまいります。

## ■受賞したビジネスに至った経緯

私がこのビジネスを立ち上げるに至った背景には、幼少期の原体験があります。私の母も、まさに子どもの送迎問題に翻弄された親の一人でした。毎日の様に私や兄弟の送り迎えをしていた母は、いつも時間に追われていて、自身のキャリアを考える余裕もありませんでした。そういう姿を間近で見ていた私は、「送り迎えがなければ、母も仕事をしたり、ゆっくり家事をしたりできるのかもしれない」と子どもながらに考えていました。

その後、社会人になった私は次世代移動サービスの分野でキャリアを積むことになりました。スマートモビリティ事業を展開する企業では自動運転の開発に携わり、前職の鉄道会社ではMaaSサービスの事業開発リーダーを務めました。そんな中、転職となるできごとに出会います。多くの子育て世帯の親御さんから、「習い事の送迎に苦労している」という声が聞こえてきたのです。MaaS事業の一環で、沿線住民にヒアリングを行ったことでした。それを聞いて、私は送り迎えに奔走していた母親のことを思い出しました。そして、「これだけテクノロジーが発達しているのに、まだ昔の母と同じ環境が続いているのか」と驚きました。

「子どもの送迎をなくせるようなシステムをつくれないうか」というアイデアを思いついたのは、このときの衝撃と、私の専門分野である次世代移動サービスが結びついたことがきっかけです。会社員を続けながら副業として事業を立ち上げましたが、子育て世帯からの高いニーズがあることや、資金調達の見通しが立ってきたことから会社を離れ、「子育て世代の送迎問題」の解決に人生の一部を捧げようと決意しました。

## ■サービスの特徴

「hab」は、子育て世代の送迎の悩みを解決するために開発した次世代の送迎サービスです。地域の習い事に通う子どもたちがタクシーをシェアすることで、各教室やスクールへ安全に移動することができます。スマートフォンアプリから子どもの乗降時刻や目的地のデータを保護者が送信すると、「hab」はその情報を集約し、それぞれの家庭に合わせたオーダーメイドの送迎ルートを作成します。

子どもたちは、習い事の教室や提携する店舗の軒先に設定する「停留所」でタクシーを待ち、ドライバーは子どもたちを順番に目的地まで送り届ける仕組みです。子どもがタクシーに乗ると保護者のスマートフォンに乗降通知が届くようになっており、位置情報のシェアもできるので、安心してご利用いただけます。送迎サービスを検討している習い事事業者にもニーズのあるサービスです。

習い事や塾の送迎に一般のタクシーを使っている家庭もありますが、頻繁に利用するほど乗車賃は高額になりますし、「子どもが一人でタクシーに乗るのはまわりの目が気になる」という方もいらっしゃいます。その点も「hab」なら心配はいりません。相乗りなので乗車賃は安く抑えられ、地域の子もだけが乗るタクシーなので気軽に利用することができます。

## ■現状の課題

2023年の3月に行った実証実験では、当社のサービスに高評価をいただく一方で、課題もいくつか見えてきました。その一つが、「親からの手離れをどう実現

させるか」ということです。実証実験の段階では、子どもが慣れるまで保護者にも停留所へ一緒に来ていただくケースが多くありました。しかし、それでは子育て世帯の負担を減らすことにつながりません。できる限りお子さんが一人で停留所まで来て、安心して待ってられるような仕組みを確立する必要があると感じました。

実証実験ではアンケートを実施しましたが、送迎問題によって、2人に1人の子どもが習い事をあきらめ、親の2人に1人が理想の働き方をあきらめているという結果になりました。そして、ほぼすべての利用者から「有償になっても継続利用したい」という声をいただいております。「hab」の利用を心待ちにしてください。親御さんがたくさんいらっしゃいますので、社会実装に向けて、さらなる改善を進めていきたいと思っております。

## ■今後の展開

「hab」は、2024年2月の社会実装を目指しています。このサービスは、ユーザーの数が増えてこそ充実したものにしますので、乗車賃は利用しやすい価格に抑え、収益は習い事事業者や法人から得られるようなソリューションを想定しています。一例として、タクシー車内やアプリ内の広告展開、有償で教室の目の前に優先的に配車できる仕組みなどをつくり、収益化を図っていきたく考えています。

また、子どもたちが安全に乗降するための「停留所」となるスペースを提供してくれる、企業や店舗などのパートナーも開拓しており、現在いくつかの企業と話を進めています。

システム面では、相乗りではなく子ども個人で利用できるタクシー配車サービスの実装化にも取り組んでいます。「高額でもいいから安全に子どもを送迎してほしい」という家庭も一定数いらっしゃいますので、そのニーズに応えられるプロダクトを構築中です。

現在、会社の運営は私一人で行っていますが、ゆくゆくはCTOやCOOなどのポジションを増やしていく予定です。5年後には売上50億円を達成することを目標に掲げつつ、サービスに磨きをかけていきます。

## ■エントリーを検討中の方へ一言

もしエントリーを迷われているならあまり考え過ぎず、とにかく一度応募してみることをおすすめします。選考に通るか通らないかは別として、エントリーシートには事業概要や販売戦略などをかなり細かく記載しなければならぬので、事業の定点観測や振り返りになります。また、ビジネスモデルやサービスの魅力を分かりやすく人に伝えるにはどうすればいいか、改めて考えるきっかけにもなるでしょう。そういう意味では、私自身も応募したことには大きな意義があったと感じています。受賞できるかどうか、高評価をいただけるかどうかはタイミングや運もありますので、結果はあまり気にせず、ぜひ挑戦してみてくださいはかがでしようか。

会社名：hab株式会社

住所：〒220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目7-1

オーシャンゲートみなとみらい8階

神奈川県SHINみなとみらい

ホームページ：<https://habshuttle.com/>